



吉高人権だより

2021年 3月号

愛媛県立吉田高等学校 人権委員会発行

短所が長所

保健体育科 田中裕之

自分の短所ばかりが気になっている人はいませんか。他人の欠点を悪口にしている人はいませんか。

この世に完璧な人って存在するのでしょうか。完璧に近い人は存在すると思いますが、探せば必ず一つや二つの欠点は持っていると思います。マンガを面白くするコツは登場人物に欠点をつくることだそうです。また、司馬遼太郎の小説に出てくる主人公もかならず欠点が明確に描かれています。例えば、坂本龍馬は自分の着物を洗濯しないし、袴の紐をペロペロとなめながら話すのがクセの不潔男として描かれ、高杉晋作は上級武士の子として威張っているにもかかわらず武芸オンチ。しかも海軍を目指すも船酔いであきらめることに……。でも読む側にとってはこれがたまらない主人公の魅力になっているのも事実です。

月も同じです。歌に詠まれている月はほとんどが欠けたお月様。「三日月」「上弦の月」など、お月様だって欠けているから魅惑的なのです。欠点があるから人間的な魅力が増し長所が引き立つ。そしてまわりの人はなぜかそれを見ると、ほっとして応援したくなる。自分の短所で悩んでいる人は、もうわかりましたね。安心してください。短所こそ個性。あなたの短所は神様の演出だったと考えればいいのです。

サッカーの話でもう一つしておきましょう。サッカーの指導においても、欠けているからこそ獲得できることが多くあり、寧ろ極端な言い方をすれば、欠けてないと辿り着けない部分も多々あるのではないかと考えます。例えば、サッカー選手であれば協調性が欠けているからエゴイスティックなストライカーに育つことがあり、足が速くないからとか、身体が大きいから工夫・想像力という武器を手に入れて成長していく選手を沢山見てきました。欠けているからこそ進歩でき、ひいては誰にも真似できない個性的なサッカー選手に育っていく可能性を秘めているのだと考えています。短所が長所となり得るのです。

短所・欠点で悩んでいるあなた、短所を長所として捉え、自分磨きをしてみませんか。また、他人の欠点を悪口に言うてしまうあなた、他人の見方を変えてみましょう。他人の欠点を応援してあげることができれば、素敵な学校生活を送れるのではないのでしょうか。



人権ポスター

令和2年度人権尊重の意識を高めるためのポスターに2G加藤碧さん、令和2年度人権作品集「いのち」人権ポスターの部に1G2楠彩音さんと2G善家陽向さんの作品が入選しました。ポスターは校内に掲示する予定です。



加藤 碧さん



楠 彩音さん



善家陽向さん

人権委員会の活動

3月の人権委員会の活動として、「宇和島南中等教育学校人権メッセージ～今私にできること私にしかできないこと」を視聴しました。視聴後話し合った人権委員の感想です。



今回の動画を見て、「行動する：Act」「関わる：Concern」「気付く：Think」「感じる：Imagine」「結ぶ：Network」「伝える：Output」という六つのことを意識して生活していきたいと思いました。また、長島愛生園を訪問したり、子ども食堂に参加したりするなど、行動するという事を見習いたいと思いました。特に印象に残ったのはハンセン病で隔離されている人たちだけでなく、家族も差別されていたということです。今、コロナに関してのうその情報が流れたりしています。どれが真実かを見極め、傷つく人を減らしていく行動が大切だと改めて思いました。

自分にしかできないことを見つけていきたいです。「差別をなかったことにしない」という言葉が印象に残りました。

人権委員としての活動の感想



- ・今年には主に新型コロナウイルスによる人権問題についての活動が多く、新型コロナウイルスの問題を中心に、人権について深く学べた1年間でした。(2G上田さん)
- ・人権委員として、たんぼぼ読書会の方々と座談会や、文化祭での手話での発表を通して、同和問題や手話について学ぶことができたので今後生かす場面があれば、生かしてしていきます。(1M佐々木さん)
- ・先輩方にも恵まれて1年間充実した活動ができました。人権委員会で学んだことを今後生かしたいと思います。(1E毛利さん)



<御意見・御感想をお寄せください>